

2015年3月期 第2四半期 決算補足資料

1. 決算概観(連結)	P.1
2. 第2四半期 業績のポイント	P.2
3. 第2四半期 業績の状況(対前年・対予想)	P.3
4. 主要製品の状況	P.4
5. 主な子会社の業績と予想	P.5
6. 第2四半期 業績と予想(連結)	P.6
7. 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況(連結)	P.7
8. 開発品一覧	P.8~9
【参考資料】	
9. セグメント情報	P.11
10. 損益計算書の概要(連結)	P.12~13
11. 貸借対照表の概要(連結)	P.14
12. 主な業績項目の推移(連結)	P.15
13. 杏林製薬資料	P.16~19

2014年11月4日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



2015年3月期 第2四半期 決算概観(連結)

(単位:百万円)

	12年3月期 第2四半期	13年3月期 第2四半期	14年3月期 第2四半期	15年3月期 第2四半期	前年比	15年3月期 (修正予想)	前年比	15年3月期 (当初予想)	前年比
売上高	46,387	47,954	50,851	51,112	+0.5%	111,700	+0.3%	112,200	+0.7%
営業利益	4,900	6,269	6,213	4,587	-26.2%	13,800	-21.6%	15,800	-10.3%
経常利益	5,253	6,609	6,531	4,898	-25.0%	14,300	-21.8%	16,300	-10.8%
当期純利益	3,355	4,295	4,397	3,495	-20.5%	11,600	-3.5%	11,300	-6.0%

15年3月期 第2四半期 連結業績(実績)

【売上高】 薬価改定、後発医薬品の使用促進策等により、新医薬品の売上が前年に対して減少したものの、後発医薬品の売上が前年を大幅に上回る実績で推移したことから、売上高は511億12百万円(前年比0.5%増)と増収になりました。

【利益】 薬価改定の影響、医薬品事業における製品の売上構成の変化等により、原価率が上昇し、売上総利益は前年に対して19億82百万円減となりました。他方、販売費及び一般管理費(R&D費含む)は減少したものの、営業利益は45億87百万円(前年比26.2%減)となり、当四半期純利益は34億95百万円(前年比20.5%減)となりました。

15年3月期 連結業績(予想)

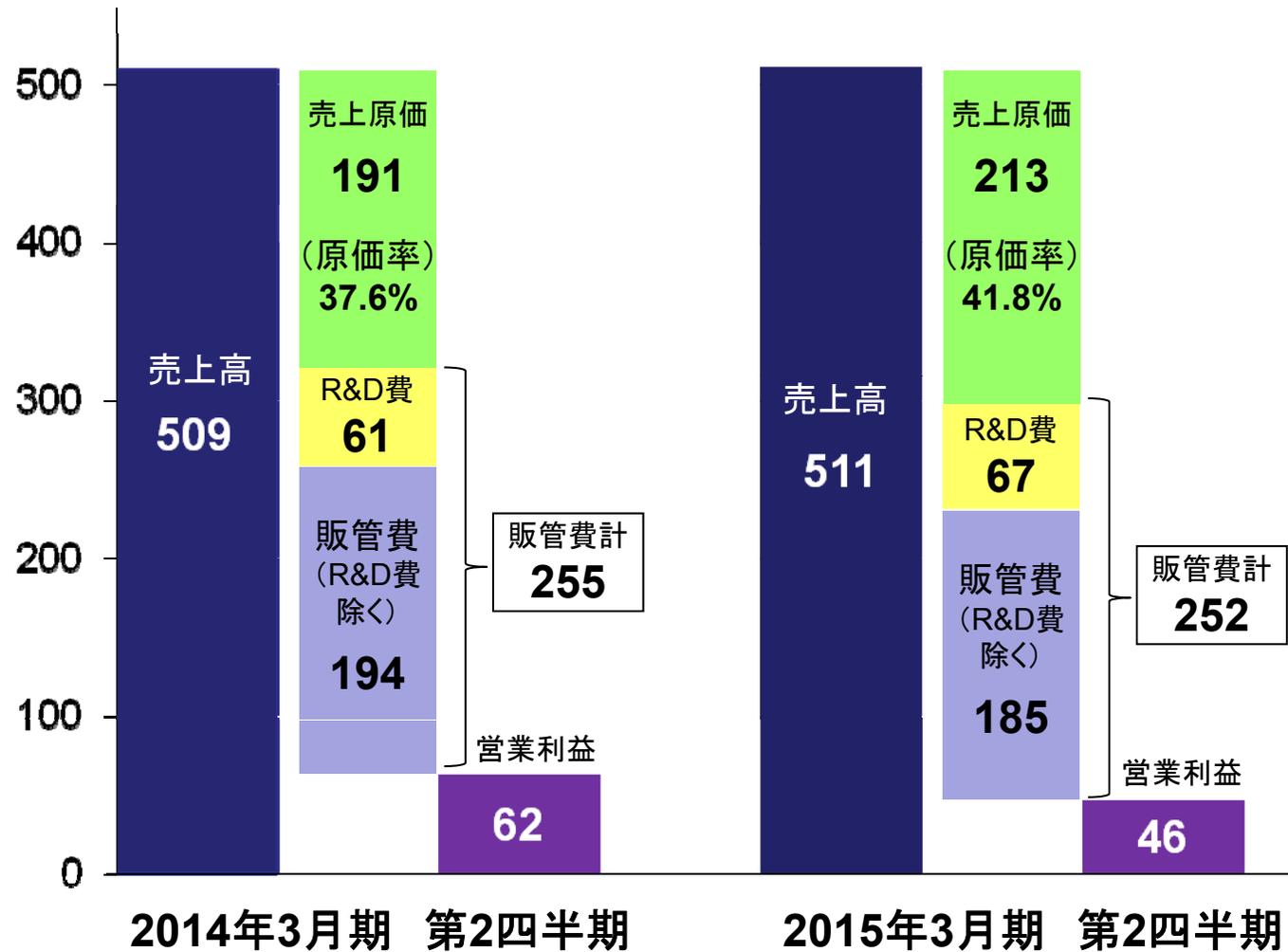
【売上高】 後発医薬品の売上が予想される反面、新医薬品の売上見通しの減少により、全体としては前回予想を下回る見込みとなり、15年3月期の売上高を1,117億円(5億円減)に下方修正いたしました。

【利益】 医薬品事業における売上構成の変化等により売上原価が増加するため、売上総利益の減少が予想され、またライセンス契約の一時金発生等により研究開発費が約11億円増加する見通しとなり、営業利益を138億円(20億円減)、経常利益を143億円(20億円減)に下方修正いたしました。当期純利益につきましては、旧本社ビルの土地・建物の譲渡に関わる特別利益約45億円、創薬研究所の跡地利用に関わる特別損失約16億円ほかを下期に見込み、116億円(3億円増)と上方修正いたしました。

◇平成26年5月9日付け「平成26年3月期 決算短信」にて公表しました平成27年3月期の連結業績予想を上記の通り修正しました。

2015年3月期 第2四半期 業績のポイント(対前年)

(単位:億円)



- 売上高は前年比2億円増
 - ・新医薬品の売上減少(国内外)
 - ・後発医薬品の売上増
- 売上原価額は22億円増
(売上原価率は4.2%上昇)
 - ・薬価改定の影響
 - ・後発医薬品の売上ウェイト上昇
 - ・海外新医薬品の売上減少
- 売上総利益は前年比20億円減
- 販管費は前年比3億円減
 - ・R&D費は6億円増
(ライセンス契約一時金等)
 - ・販管費(R&D費除く)は9億円減
- 営業利益は前年比16億円減

2015年3月期 第2四半期 業績の状況(対前年・対予想)

(単位: 億円)

	14年3月期 第2四半期	15年3月期 第2四半期	対前年
売上高	509	511	+2
医薬品事業	500	505	+5
◆新医薬品	429	408	-21
○国内	417	404	-13
○海外	12	3	-9
◆後発医薬品	52	78	+26
◆一般用医薬品他	20	20	0
ヘルスケア事業 (スキンケア)	8	6	-2
営業利益	62	46	-16
経常利益	65	49	-16
四半期純利益	44	35	-9

※国内新医薬品にキョーリン製薬グループ工場の売上を含みます

		対前年	対予想
■売上高	511億円	(+ 2)	(- 2)
◆医薬品事業	505億円	(+ 5)	(- 1)
●国内新医薬品	404億円	(- 13)	(-13)
	14.3(2Q) 15.3(2Q)		
・キプレス	171 ⇒ 174	(+ 3)	(+ 1)
・ムコダイン	82 ⇒ 62	(-20)	(-10)
・ペンタサ	94 ⇒ 86	(- 8)	(- 3)
・ウリトス	37 ⇒ 34	(- 3)	(- 3)
・フルティフォーム	- ⇒ 9	(+ 9)	(+ 1)
●海外新医薬品	3億円	(- 9)	(- 1)
・ガチフロキサシン	10 ⇒ 1	(- 9)	(0)
●後発医薬品	78億円	(+26)	(+14)
	・主導的共同開発による他社受託ビジネス、自販における卸店ルート等の売上増		
●一般用医薬品他	20億円	(0)	(- 1)
◆ヘルスケア事業(スキンケア)	6億円	(- 2)	(- 1)
■営業利益	46億円	(-16)	(- 9)
◆営業利益率は9.0%と3.2ポイント低下			
●原価率: 前年比4.2ポイント上昇 (37.6%⇒41.8%)			
	・薬価改定(杏林製薬: 本体薬価ベース6%台)、後発医薬品の売上ウエイト上昇、ガチフロキサシンのロイヤリティ収入が減少		
●研究開発費率: 前年比1.1ポイント上昇 (12.0%⇒13.1%)		(+ 6)	(+10)
	* 61億円⇒67億円(6億円増加) 前期にKRP-209、KRP-108の費用があり今期は減少するも、KRP-114Vの契約一時金等が発生		
●販管費率(除くR&D費): 前年比2.0ポイント低下 (38.2%⇒36.2%)			
	* 194億円⇒185億円(9億円減少) 削減努力により販売費・人件費・一般経費等が減少		
■四半期純利益	35億円	(- 9)	(- 4)
◆配当(中間)	20円00銭		

2015年3月期 第2四半期 主要製品の状況

(単位: 億円)

		12年3月期 第2四半期	13年3月期 第2四半期	14年3月期 第2四半期	15年3月期 第2四半期		14年3月期	15年3月期 (修正予想)	15年3月期 (当初予想)
					実績	前 同 比			
国内 新医薬品	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤)	157	163	171	174	+2.0%	402	402	403
	ムコダイン (気道粘液調整・粘膜正常化剤)	91	83	82	62	-24.8%	184	138	160
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	91	90	94	86	-8.1%	186	167	175
	ウリトス(自社販売) (過活動膀胱治療剤)	29	36	37	34	-9.9%	81	75	82
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害治療剤)	18	15	15	11	-26.5%	28	21	25
	フルティフォーム (喘息治療配合剤)	—	—	—	9	—	6	39	28
海外 新医薬品	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	8	9	10	1	-86.3%	15	5	5
一般用 医薬品	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	9	10	10	10	-4.2%	21	19	20

主な子会社の業績と予想

(単位: 億円)

杏林製薬	14年3月期 第2四半期	15年3月期 第2四半期
売上高	449	439
営業利益	56	35
当期純利益	43	29

14年3月期	15年3月期 (修正予想)
977	971
154	115
108	102

15年3月期 (当初予想)
985
143
104

キョーリン リメディオ	14年3月期 第2四半期	15年3月期 第2四半期
売上高	55	80
営業利益	2	9
当期純利益	1	6

14年3月期	15年3月期 (修正予想)
124	153
10	16
6	10

15年3月期 (当初予想)
132
7
5

ドクタープログラム	14年3月期 第2四半期	15年3月期 第2四半期
売上高	8	6
営業利益	1	0
当期純利益	1	0

14年3月期	15年3月期 (修正予想)
18	16
2	0
2	0

15年3月期 (当初予想)
17
0
0

2015年3月期 第2四半期 業績と予想(連結)

(単位:百万円)

	14年3月期 第2四半期	15年3月期 第2四半期	前年差額	前年比	14年3月期	15年3月期 (修正予想)	15年3月期 (当初予想)
売上高	50,851	51,112	+260	+0.5%	111,400	111,700	112,200
医薬品事業	50,040	50,518	+477	+1.0%	109,678	110,000	110,500
◆新医薬品	42,858	40,755	-2,102	-4.9%	93,518	90,800	93,100
○国内	41,697	40,422	-1,274	-3.1%	91,668	89,700	92,100
○海外	1,160	332	-828	-71.3%	1,849	1,000	1,000
◆後発医薬品	5,184	7,790	+2,606	+50.3%	11,987	15,000	12,700
◆一般用医薬品他	1,997	1,972	-25	-1.3%	4,172	4,200	4,600
ヘルスケア事業 (スキンケア)	810	593	-217	-26.8%	1,721	1,600	1,700
営業利益	6,213	4,587	-1,625	-26.2%	17,607	13,800	15,800
経常利益	6,531	4,898	-1,633	-25.0%	18,281	14,300	16,300
当期純利益	4,397	3,495	-901	-20.5%	12,025	11,600	11,300

研究開発費・設備投資・減価償却費の状況(連結)

(単位:百万円)

	12年3月期 第2四半期	13年3月期 第2四半期	14年3月期 第2四半期	15年3月期 第2四半期	増減比	14年3月期	15年3月期 (修正予想)	15年3月期 (当初予想)
研究開発費	6,075	4,892	6,119	6,674	+9.1%	11,359	13,600	12,500
設備投資	402	1,181	1,618	1,557	-3.8%	6,500	3,500	3,000
減価償却費	1,122	1,119	1,460	1,462	+0.1%	3,153	3,100	3,100

【設備投資の詳細】

(単位:億円)

	14年3月期 第2四半期	15年3月期 第2四半期	14年3月期	15年3月期 (修正予想)	15年3月期 (当初予想)
工場設備	8	9	19	21	16
管理・販売設備	4	2	7	6	7
研究用設備	4	4	39	8	7

開発品一覧①(2014年11月4日現在)

PhⅢ ~承認

※:前回(2015年3月期第1四半期 7月29日発表)からの変更点

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
申請 (14年3月)	(欧州) アルミール社 : 上市(12年9月) (米国) フォレスト社 : 上市(12年12月)	KRP-AB1102 (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミール社	アセチルコリン受容体拮抗作用によりCOPDに伴う呼吸困難、息苦しさなどの諸症状を改善する長時間作用型ムスカリンM3拮抗剤(アクリジニウム) ①全身性副作用が少ない ②1日2回投与により1日を通じて症状、呼吸機能改善 ③最大効果発現までの時間が短い ※吸入器: Genuairを使用	アルミール社とライセンス契約 (11年2月)
PhⅢ (13年8月)	(欧州) アルミール社 : 申請(13年10月) (米国) フォレスト社: 申請準備中	KRP-AB1102F (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミール社	長時間作用型ムスカリンM3拮抗剤(LAMA:アクリジニウム)と長時間作用性 β 2刺激薬(LABA:ホルモテロール)の配合剤	アルミール社とライセンス契約 (11年2月)
PhⅢ 準備中	(米国、欧州、他) 米国メルク社 : PhⅡ終了	KRP-114V	過活動膀胱	米国 メルク社	膀胱の β_3 受容体に作用する事で、膀胱弛緩作用を増強し、頻尿の改善が期待される	米国メルク社とライセンス契約 (14年7月)

・キプレス(新効能・効果:小児アレルギー性鼻炎、チュアブル錠・細粒)は、PhⅢ臨床試験において期待するプロファイルの達成が出来なかったため、開発を中止し一覧から削除

開発品一覧②(2014年11月4日現在)

POCプロジェクト(Ph I ~Ph II)

※:前回(2015年3月期第1四半期 7月29日発表)からの変更点

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
Ph II (11年8月)	Ph III メルツ社	KRP-209	耳鳴	ドイツ メルツ社	NMDA受容体拮抗作用及びニコチン作動性アセチルコリン受容体拮抗作用を有し、耳鳴に伴う心理的な苦痛、生活障害の改善が期待される	メルツ社とライセンス契約 (09年11月)
Ph II (13年3月)	Ph II (POC) (10年12月) ノバルティス	KRP-203	自己免疫疾患 臓器移植 IBD	自社	S1P受容体アゴニスト。新規メカニズムを有する免疫調節剤。既存の免疫抑制剤に比べて安全性が高く、かつ優れた併用効果が期待される	ノバルティスとライセンス契約 (06年2月) 新たなライセンス契約 IBD(10年11月)
Ph II (13年9月)		KRP-AM1977X (経口剤)	ニューキノロン系 合成抗菌剤	自社	①薬剤耐性グラム陽性菌(MRSAを含む)に対して優れた抗菌力 ②優れた体内動態(経口吸収、組織移行) ③前臨床試験で安全性はクリア、高い安全性を期待	
Ph II (14年6月)		KRP-AM1977Y (注射剤)	ニューキノロン系 合成抗菌剤	自社		

※KRP-EPA605につきましては開発を中止し開発品一覧から削除

- ・ 遺伝子治療用医薬品「Ad-SGE-REIC製剤」(対象疾病:悪性胸膜中皮腫)を開発(予定)

参考資料

2015年3月期 第2四半期 セグメント情報

報告セグメントごとの売上高および利益

(単位:億円)

	売上高		セグメント利益	
	金額	対前年	金額	対前年
合計	511	+2	46	-16
医薬品事業計	505	+5	45	-14
◆新医薬品	408	-21		
○国内	404	-13		
○海外	3	-9		
◆後発医薬品	78	+26		
◆一般用医薬品他	20	0		
ヘルスケア事業計	6	-2	0	-1
調整額	-	-	1	-1

(注)「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用し、報告セグメントは【医薬品事業】【ヘルスケア事業】としております

損益計算書の概要(連結)①

(単位:百万円)

	14年3月期 第2四半期		15年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	50,851	100.0%	51,112	100.0%	+0.5%	+260
医薬品事業	50,040	98.4%	50,518	98.8%	+1.0%	+477
◆新医薬品	42,858	84.3%	40,755	79.7%	-4.9%	-2,102
○国内	41,697	82.0%	40,422	79.1%	-3.1%	-1,274
○海外	1,160	2.3%	332	0.6%	-71.3%	-828
◆後発医薬品	5,184	10.2%	7,790	15.2%	+50.3%	+2,606
◆一般用医薬品他	1,997	3.9%	1,972	3.9%	-1.3%	-25
ヘルスケア事業 (スキンケア)	810	1.6%	593	1.2%	-26.8%	-217

<当期のポイント>

対前年

■ 売上高 51,112百万円 (+260百万円)

● 国内新医薬品 40,422百万円 (-1,274百万円)

	14.3(2Q)	⇒	15.3(2Q)	(億円)
・キプレス	171	⇒	174	(+3)
・ムコダイン	82	⇒	62	(-20)
・ペンタサ	94	⇒	86	(-8)
・ウリトス	37	⇒	34	(-3)
・フルティフォーム	-	⇒	9	(+9)

● 海外新医薬品 332百万円 (-828百万円)

・ガチフロキサシン	10	⇒	1	(-9)
-----------	----	---	---	------

● 後発医薬品 7,790百万円 (+2,606百万円)

- * 主導的共同開発による他社受託ビジネスの拡大
- * 自販における卸店ルート等の売上増

● 一般用医薬品等 1,972百万円 (-25百万円)

● ヘルスケア(スキンケア) 593百万円 (-217百万円)

- * ドクタープログラムの売上減少

<適応範囲及び持分法の適用について>

連結子会社8社： 杏林製薬(株)
 Kyorin USA, Inc. Kyorin Europe GmbH
 ActivX Biosciences, Inc.
 キョーリンリメディオ(株)
 キョーリンメディカルサプライ(株)
 ドクタープログラム(株)
 キョーリン製薬グループ工場(株)

持分法適用会社1社： 日本理化学薬品(株)

損益計算書の概要(連結)－②

(単位:百万円)

	14年3月期 第2四半期		15年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	50,851	100.0%	51,112	100.0%	+0.5%	+260
売上原価	19,097	37.6%	21,340	41.8%	+11.7%	+2,243
売上総利益	31,754	62.4%	29,771	58.2%	-6.2%	-1,982
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	25,541 (6,119)	50.2% (12.0%)	25,183 (6,674)	49.3% (13.1%)	-1.4% (+9.1%)	-357 (+554)
営業利益	6,213	12.2%	4,587	9.0%	-26.2%	-1,625
営業外収益	337	0.6%	315	0.6%	-6.5%	-21
営業外費用	19	0.0%	5	0.0%	-71.3%	-14
経常利益	6,531	12.8%	4,898	9.6%	-25.0%	-1,633
特別利益	237	0.5%	29	0.1%	-87.7%	-208
特別損失	184	0.4%	32	0.1%	-82.5%	-151
税金等調整前 四半期純利益	6,584	12.9%	4,894	9.6%	-25.7%	-1,689
法人税・住民税 及び事業税	1,810	3.6%	1,692	3.3%	-6.5%	-118
法人税等調整額	376	0.7%	-292	-0.6%	—	-669
四半期純利益	4,397	8.6%	3,495	6.8%	-20.5%	-901

<当期のポイント>

◆原価率：前年比4.2ポイント上昇

(37.6%→41.8%)

- ・薬価改定(杏林製薬：本体薬価ベース6%台)
- ・後発医薬品の売上ウェイト上昇
- ・ガチフロキサシンのロイヤリティ収入の減少

◆研究開発費率：前年比1.1ポイント上昇

(12.0%→13.1%)

- * 61億円→67億円(6億円増加)
- 前年にKRP-209、KRP-108の費用があり今期は減少するも、KRP-114Vの契約一時金等が発生

◆販管費率(除くR&D費)：前年比2.0ポイント低下

(38.2%→36.2%)

- * 194億円→185億円(9億円減少)
- 削減努力により販売費・人件費・一般経費等の減少

■営業利益 4,587百万円 (-1,625百万円)

- * 営業利益率は9.0%と3.2ポイント低下

■四半期純利益 3,495百万円 (-901百万円)

■配当(中間) 20円00銭

貸借対照表の概要(連結)

(単位:百万円)

	14年3月期末	
	実績	構成比
流動資産	121,638	71.8%
現金及び預金	31,017	
受取手形及び売掛金	44,123	
有価証券	17,965	—
棚卸資産	21,699	
その他流動資産	6,833	
固定資産	47,740	28.2%
有形固定資産	20,841	
無形固定資産	1,198	—
投資その他	25,700	
資産合計	169,378	100.0%

流動負債	28,401	16.8%
支払手形及び買掛金	11,056	—
その他流動負債	17,344	
固定負債	3,155	1.9%
負債合計	31,557	18.6%
株主資本	135,273	79.9%
その他の包括利益累計額	2,548	1.5%
その他有価証券評価差額金	3,434	
為替換算調整勘定	12	—
退職給付に係る調整累計額	-898	
純資産合計	137,821	81.4%
負債及び純資産合計	169,378	100.0%

15年3月期 第2四半期末		
実績	構成比	前期末増減
117,213	71.3%	-4,425
26,669		
36,655		
20,667	—	—
25,728		
7,492		
47,141	28.7%	-598
20,886		
1,276	—	—
24,978		
164,354	100.0%	-5,023

23,032	14.0%	-5,368
10,457	—	—
12,575		
2,284	1.4%	-871
25,317	15.4%	-6,240
135,629	82.5%	+356
3,407	2.1%	+859
4,313		
-30	—	—
-875		
139,037	84.6%	+1,216
164,354	100.0%	-5,023

<当期のポイント>

■流動資産：4,425百万円減

- ・現金及び預金の減少 (-4,347百万円)
- ・受取手形及び売掛金の減少 (-7,467百万円)
- ・有価証券の増加 (+2,702百万円)
- ・棚卸資産の増加 (+4,029百万円)
- ・その他流動資産の増加 (+658百万円)

■固定資産：598百万円減

- ・有形固定資産の増加 (+44百万円)
- ・無形固定資産の増加 (+78百万円)
- ・投資その他の減少 (-721百万円)

■流動負債：5,368百万円減

- ・支払手形及び買掛金の減少 (-599百万円)
- ・その他流動負債の減少 (-4,768百万円)

■固定負債：871百万円減

主な業績項目の推移(連結)

(単位:百万円)

	13年3月期 第2四半期	14年3月期 第2四半期	15年3月期 第2四半期
売上高 (海外売上)	47,954 (1,023)	50,851 (1,160)	51,112 (332)
売上原価 (売上原価率)%	18,093 (37.7%)	19,097 (37.6%)	21,340 (41.8%)
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	23,591 (49.2%)	25,541 (50.2%)	25,183 (49.3%)
うち研究開発費 (研究開発费率)%	4,892 (10.2%)	6,119 (12.0%)	6,674 (13.1%)
営業利益 (営業利益率)%	6,269 (13.1%)	6,213 (12.2%)	4,587 (9.0%)
経常利益 (経常利益率)%	6,609 (13.8%)	6,531 (12.8%)	4,898 (9.6%)
四半期(当期)純利益 (四半期(当期)純利益率)%	4,295 (9.0%)	4,397 (8.6%)	3,495 (6.8%)
一株当たり当期利益(円)	57.49円	58.85円	46.78円
資本金	700	700	700
総資産	147,425	155,840	164,354
純資産	120,200	130,098	139,037
一株当たり純資産(円)	1,608.74円	1,741.24円	1,860.90円
自己資本利益率%	3.6%	3.4%	2.5%
自己資本比率%	81.5%	83.5%	84.6%
人員(人)	2,346人	2,481人	2,482人
設備投資	1,181	1,618	1,557
減価償却費	1,119	1,460	1,462

14年3月期	15年3月期 (修正予想)	15年3月期 (当初予想)
111,400 (1,849)	111,700 (1,000)	112,200 (1,000)
43,047 (38.6%)	—	—
50,744 (45.6%)	—	—
11,359 (10.2%)	13,600 (12.2%)	12,500 (11.1%)
17,607 (15.8%)	13,800 (12.4%)	15,800 (14.1%)
18,281 (16.4%)	14,300 (12.8%)	16,300 (14.5%)
12,025 (10.8%)	11,600 (10.4%)	11,300 (10.1%)
160.95円	155.26円	151.24円
700	—	—
169,378	—	—
137,821	—	—
1,844.61円	—	—
9.0%	—	—
81.4%	—	—
2,452人	—	—
6,500	3,500	3,000
3,153	3,100	3,100

損益計算書の概要：杏林製薬①

(単位：百万円)

	14年3月期 第2四半期		15年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	44,933	100.0%	43,922	100.0%	-2.3%	-1,011
医薬品事業	44,933	100.0%	43,922	100.0%	-2.3%	-1,011
◆新医薬品	41,311	92.0%	39,353	89.6%	-4.7%	-1,958
○国内	40,214	89.5%	39,107	89.0%	-2.8%	-1,106
○海外	1,097	2.5%	246	0.6%	-77.6%	-851
◆後発医薬品	2,216	4.9%	3,120	7.1%	+40.8%	+904
◆一般用医薬品他	1,405	3.1%	1,448	3.3%	+3.1%	+42

<当期のポイント>

- 対前年
- 売上高 **43,922百万円** (-1,011百万円)
- 国内新医薬品 **39,107百万円** (-1,106百万円)
- | | 14.3(2Q) | ⇒ | 15.3(2Q) | (億円) |
|-----------|----------|---|----------|-------|
| ・キプレス | 171 | ⇒ | 174 | (+3) |
| ・ムコダイン | 82 | ⇒ | 62 | (-20) |
| ・ペンタサ | 94 | ⇒ | 86 | (-8) |
| ・ウリトス | 37 | ⇒ | 34 | (-3) |
| ・フルティフォーム | - | ⇒ | 9 | (+9) |
- 海外新医薬品 **246百万円** (-851百万円)
- | | | | | |
|-----------|----|---|---|------|
| ・ガチフロキサシン | 10 | ⇒ | 1 | (-9) |
|-----------|----|---|---|------|
- 後発医薬品 **3,120百万円** (+904百万円)
- ・キョーリン リメディオ製品の売上増
- 一般用医薬品他 **1,448百万円** (+42百万円)
- | | | | | |
|-------|----|---|----|------|
| ・ミルトン | 10 | ⇒ | 10 | (0) |
| ・ルビスタ | 1 | ⇒ | 2 | (+1) |

損益計算書の概要：杏林製薬一②

(単位：百万円)

	14年3月期 第2四半期		15年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	44,933	100.0%	43,922	100.0%	-2.3%	-1,011
売上原価	15,609	34.7%	17,354	39.5%	+11.2%	+1,744
売上総利益	29,323	65.3%	26,567	60.5%	-9.4%	-2,755
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	23,748 (5,848)	52.9% (13.0%)	23,069 (6,334)	52.5% (14.4%)	-2.9% (+8.3%)	-678 (+485)
営業利益	5,575	12.4%	3,498	8.0%	-37.3%	-2,077
営業外収益	525	1.1%	459	1.0%	-12.4%	-65
営業外費用	12	0.0%	0	0.0%	-99.1%	-12
経常利益	6,087	13.5%	3,957	9.0%	-35.0%	-2,130
特別利益	235	0.5%	29	0.1%	-87.6%	-206
特別損失	32	0.0%	7	0.0%	-77.8%	-25
税引前四半期純利益	6,291	14.0%	3,979	9.1%	-36.7%	-2,311
法人税・住民税 及び事業税	1,689	3.8%	1,361	3.1%	-19.4%	-328
法人税等調整額	340	0.7%	-321	-0.7%	—	-662
四半期純利益	4,261	9.5%	2,940	6.7%	-31.0%	-1,320

<当期のポイント>

◆原価率：前年比4.8ポイント上昇
(34.7%→39.5%)

- ・薬価改定(杏林製薬：本体薬価ベース6%台)
- ・製品の売上構成の変化
- ・ガチフロキサシンのロイヤリティ収入の減少

◆研究開発費率：前年比1.4ポイント上昇
(13.0%→14.4%)

- * 58億円→63億円(5億円増加)
- 前期にKRP-209、KRP-108の費用があり今期は減少するも、KRP-114Vの契約一時金等が発生

◆販管費率(除くR&D費)：前年比1.7ポイント低下
(39.8%→38.1%)

■営業利益 3,498百万円 (-2,077百万円)

- * 営業利益率は8.0%と4.4ポイント低下

■四半期純利益 2,940百万円 (-1,320百万円)

貸借対照表の概要：杏林製薬

(単位：百万円)

	14年3月期末	
	実績	構成比
流動資産	92,209	70.4%
現金及び預金	15,098	—
売掛金	40,133	
有価証券	14,302	
棚卸資産	17,969	
その他流動資産	4,705	
固定資産	38,788	29.6%
有形固定資産	13,992	—
無形固定資産	385	
投資その他	24,410	
資産合計	130,997	100.0%

15年3月期 第2四半期末		
実績	構成比	前期末増減
88,501	69.7%	−3,707
12,752	—	—
32,915		
15,404		
21,428		
6,000		
38,443	30.3%	−344
13,809	—	—
428		
24,206		
126,945	100.0%	−4,051

<当期のポイント>

■流動資産：3,707百万円減

- ・現金及び預金の減少 (−2,346百万円)
- ・売掛金の減少 (−7,217百万円)
- ・有価証券の増加 (+1,102百万円)
- ・棚卸資産の増加 (+3,458百万円)

■固定資産：344百万円減

- ・有形固定資産の減少 (−183百万円)
- ・無形固定資産の増加 (+43百万円)
- ・投資その他の減少 (−204百万円)

流動負債	20,446	15.6%
支払手形及び買掛金	7,473	—
その他流動負債	12,973	
固定負債	944	0.7%
負債合計	21,391	16.3%
株主資本	106,211	81.1%
評価・換算差額等	3,394	2.6%
純資産合計	109,606	83.7%
負債及び純資産合計	130,997	100.0%

15,998	12.6%	−4,448
6,281	—	—
9,716		
659	0.5%	−285
16,657	13.1%	−4,733
106,033	83.5%	−178
4,254	3.4%	+860
110,288	86.9%	+681
126,945	100.0%	−4,051

■流動負債：4,448百万円減

- ・支払手形及び買掛金の減少 (−1,191百万円)
- ・その他流動負債の減少 (−3,257百万円)

■固定負債：285百万円減

主な業績項目の推移: 杏林製薬

(単位: 百万円)

	13年3月期 第2四半期	14年3月期 第2四半期	15年3月期 第2四半期
売上高 (海外売上)	42,951 (974)	44,933 (1,097)	43,922 (246)
売上原価 (売上原価率)%	15,360 (35.8%)	15,609 (34.7%)	17,354 (39.5%)
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	21,680 (50.5%)	23,748 (52.9%)	23,069 (52.5%)
うち研究開発費 (研究開発费率)%	4,681 (10.9%)	5,848 (13.0%)	6,334 (14.4%)
営業利益 (営業利益率)%	5,910 (13.8%)	5,575 (12.4%)	3,498 (8.0%)
経常利益 (経常利益率)%	6,470 (15.1%)	6,087 (13.5%)	3,957 (9.0%)
四半期(当期)純利益 (四半期(当期)純利益率)%	4,240 (9.9%)	4,261 (9.5%)	2,940 (6.7%)
一株当たり当期利益(円)	57.10円	57.38円	39.60円
資本金	4,317	4,317	4,317
総資産	124,789	122,396	126,945
純資産	104,128	103,608	110,288
一株当たり純資産(円)	1,402.06円	1,395.06円	1,485.00円
自己資本利益率%	4.1%	4.1%	2.7%
自己資本比率%	83.4%	84.7%	86.9%
人員(人)	1,832人	1,797人	1,801人
設備投資	716	929	635
減価償却費	828	807	814

14年3月期	15年3月期 (修正予想)	15年3月期 (当初予想)
97,662 (1,650)	97,100 (700)	98,500 (800)
35,119 (36.0%)	—	—
47,175 (48.3%)	—	—
11,064 (11.3%)	13,000 (13.4%)	11,800 (12.0%)
15,368 (15.7%)	11,500 (11.8%)	14,300 (14.5%)
16,230 (16.6%)	12,100 (12.5%)	14,900 (15.1%)
10,823 (11.1%)	10,200 (10.5%)	10,400 (10.6%)
145.74円	—	—
4,317	—	—
130,997	—	—
109,606	—	—
1,475.82円	—	—
10.2%	—	—
83.7%	—	—
1,780人	—	—
4,763	1,500	1,500
1,743	1,700	1,800